

▶交流棟外観(イメージ)



急速に進む少子高齢社会や市民ニーズの多様化に対応し、子どもから高齢者、障がいのある方まで、すべての市民が等しく活動できる施設として、引き続き、(仮称)市民活動交流施設の建設を実施します。

(仮称)市民活動支援施設整備の推進
(11億7400万円)【新規・継続】

市民が元気で健康なまちづくり

さらに、市民の運動機能を維持向上し、健康増進を図るとともに、スポーツを通じて市民活動の推進を図ることを目的として、(仮称)市民活動健康増進施設の建設に着手します。
(市民活動交流施設と市民活動健康増進施設を総称し、市民活動支援施設といいます。)



▲エントランス(イメージ)



▲イベントホール(イメージ)



▲海老名駅西口地区完成予想図(イメージ)

にぎわいと活力のある元気なまちづくり

①海老名駅駅間地区および西口地区自由通路の整備(8億2100万円)【新規・継続】

交通結節点機能を強化するとともに、海老名駅の東西一体のまちづくりに向けた中心施設として、駅間地区および西口地区自由通路の整備を実施します。
駅間地区については、平成23年度の4カ年継続事業で実施し、西口地区は平成24年度に設計を実施します。

(駅間自由通路事業費総額(平成23～26年)・約29億5900万円)



▲海老名駅東西を結ぶ自由通路(イメージ)

②海老名駅西口地区土地区画整理事業の促進など(1億800万円)【充実】

良好な市街地形成に向けて、引き続き、海老名駅西口地区土地区画整理事業を促進します。
さらに、当該事業区域外の関連道路整備を推進することで、海老名駅周辺の道路ネットワークを構築し、地域の利便性向上を図ります。

③さがみ縦貫道路関連道路整備の推進(9億3100万円)【充実】

さがみ縦貫道路海老名インターチェンジから発生する交通量に対処するため、新たな交通網を整備し、交通の分散化を図ります。
平成24年度は、海老名ジャンクション周辺の市道整備や市道53号線バイパス(中新田)の整備を推進します。

「農」のあるまちづくり

農業振興対策の拡充(1億4100万円)【充実】

平成23年度に、新規農用地区域の指定を受けた土地所有者に対し、1000平方メートルあたり100万円の補助金を交付するほか、農用地営農事業における水田分の助成単価を引き上げることなどにより、農業振興対策を拡充します。
(平成23年度における新規農用地区域指定面積・約8・6ha)



▲田植えの様子

元気な「えびなっ子」を育むまちづくり

①児童・生徒の教育環境の充実(1億2300万円)【充実】

市費負担教員の配置により、少人数学級(35人学級)の弾力的運用を図るとともに、補助指導員・介助員・看護介助員を配置することなどから、児童・生徒の教育環境を充実します。

②子ども医療費助成事業の継続(5億3000万円)【継続】

少子化対策の推進や子どもの健康増進、さらには子育て世代の負担軽減を図るため、引き続き、子ども医療費助成事業を実施します。所得制限を設けず、中学校3年生までの通院・入院費用を助成します。